ベネズエラ情勢（内政・外交：令和４年４月）

１　内政

（１）　新型コロナウイルス感染症対策関連

	新規症例数	累計症例数	新規死者数	累計死者数	累計治癒数
1日	130名	520,627名	1名	5,684名	513,334名
2日	81名	520,708名	1名	5,685名	513,432名
3日	135名	520,843名	1名	5,686名	513,516名
4日	62名	520,905名	1名	5,687名	513,621名
5日	125名	521,030名	1名	5,688名	513,671名
6日	75名	521,105名	1名	5,689名	513,708名
7日	81名	521,186名	2名	5,691名	513,762名
8日	139名	521,325名	1名	5,692名	513,890名
9日	48名	521,373名	1名	5,693名	513,964名
10日	98名	521,471名	2名	5,695名	514,082名
11日	75名	521,546名	1名	5,696名	514,206名
12日	72名	521,618名	1名	5,697名	514,288名
13日	96名	521,714名	1名	5,698名	514,413名
14日	166名	521,880名	1名	5,699名	514,477名
15日	66名	521,946名	1名	5,700名	514,608名
16日	88名	522,034名	1名	5,701名	514,685名
17日	8名	522,042名	0名	5,701名	514,772名
18日	7名	522,049名	1名	5,702名	514,911名
19日	6名	522,055名	1名	5,703名	514,962名
20日	1名	522,056名	1名	5,704名	515,060名
21日	14名	522,070名	1名	5,705名	515,135名
22日	18名	522,088名	0名	5,705名	515,212名
23日	33名	522,121名	0名	5,705名	515,305名
24日	55名	522,176名	1名	5,706名	515,463名
25日	58名	522,234名	0名	5,706名	515,537名
26日	9名	522,243名	0名	5,706名	515,621名
27日	20名	522,263名	0名	5,706名	515,639名
28日	8名	522,271名	1名	5,707名	515,653名
29日	34名	522,305名	1名	5,708名	515,666名
30日	20名	522,325名	1名	5,709名	515,675名

（ア）　８日、国境なき医師団は、新型コロナウイルス感染症の新規症例数の減少に伴い 2021 年より実施していたヘスス・ジャレナ・デ・リディセ病院（カラカス首都圏）における新型コロナウイルス感染症対策に関する支援活動を縮小する旨発表した。

２　外交

（１）　デルシー・ロドリゲス副大統領のキューバ訪問

（ア）　１２日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、キューバを訪問し、ディアスカネル・キューバ大統領と、二国間政府の合意のレビューに関する会合を実施した。

（イ）　１２日、ベネズエラとキューバは、食糧、電力、科学技術、農業及び土地に関する二国間協力の強化に向けて技術会合を開始した。同技術会合には、ベネズエラからは、ソテルド農業生産性・土地大臣、ヒメネス科学技術大臣、チャベス PDVSA 総裁等が参加した。

（２）　プラセンシア外相のニカラグア訪問

（ア）　２２日、プラセンシア外相は、ポラス・ニカラグア国会議長と、二国間の協力関係の強化の重要性に関し、会合を実施した。

（イ）　２２日、プラセンシア外相は、モンカダ・ニカラグア外相と、二国間アジェンダにおける重要なテーマのレビューに関し、会合を実施した。

（ウ）　２２日、プラセンシア外相は、オルテガ・ニカラグア大統領及びムリージョ・ニカラグア副大統領と、二国間協力関係の深化に関し、会合を実施した。

（３）　チャヴシュオール・トルコ外相のベネズエラ訪問

（ア）　２８日､プラセンシア外相は､マイケティア国際空港に到着したチャヴシュオール･トルコ外相を歓迎した。

（イ）　２８日、プラセンシア外相は、チャヴシュオール・トルコ外相とともに、貿易及び投資の強化に向けた取組のレビューを行うために、企業家との会合を実施した。

（ウ）　２８日、第３回ベネズエラ・トルコ協力混合委員会が開始し、ベネズエラ側からはエル・アイサミ経済担当副大統領及びプラセンシア外相等が、トルコ側からは、チャヴシュオール・トルコ外相が参加した。エル・アイサミ経済担当副大統領は、両国間の深い友好関係及び共働して取組を続けていくコミットメントを強調した。

（エ）　２９日、マドゥーロ大統領は、チャヴシュオール・トルコ外相と、戦略的な同盟の深化に向けて会合を実施した。

（オ）　２９日、ホルヘ・ロドリゲス体制側国会議長は、チャヴシュオール・トルコ外相と、両国の立法府間の協力及び交流の強化に関し、会合を実施した。

（４）　その他

（ア）　５日、マドゥーロ大統領は、市民フォーラム（Foro Civico）の関係者と会合を実施した。

（イ）　５日、外務省は、プレスリリースを通じて、ボリビア、コロンビア、エクアドル、ベネズエラを管轄するフリオ・カランサ・バルデス UNESCO キト事務所長が、３月２９日～４月１日、ベネズエラを訪問し、ベネズエラとの協力アジェンダのレビュー等に関する有意義な協議を実施した旨発表した。なお、同事務所長は、訪問中、マルドナド・スポーツ・青年大臣兼社会主義・領域担当副大統領、ビジェガス文化大臣、サンタエジャ教育大臣、ルセナ大学教育大臣、ヒメネス科学技術大臣等と会合を実施した。

（ウ）　５日、ペニャ中南米担当外務次官は、エンダラ・ラテンアメリカ経済機構（SELA）事務局長と、協力及び地域統合に関するワーキングアジェンダ及びプロジェクトのレビューを実施した。

（エ） ６日、ロイ・チャデルトン新駐スイス・ベネズエラ大使は、イグナティオ・カシス・スイス大統領に信任状を捧呈した。

（オ） ６日、モリーナ多国間問題担当外務次官は、ロレンティ米州ボリバル同盟人民貿易協定（ALBA-TCP）事務局長と、ALBA-TCP 加盟国間の友好関係を再確認した。

（カ） ６日、ロドリゲス欧州担当外務次官は、Mutevellioglu 駐ベネズエラ・トルコ大使と戦略的な協力関係の強化に関し、会合を実施した。

（キ） ８日、ロン北米担当外務次官は、ロレンティ ALBA-TCP 事務局長と、協力関係の強化に関し、会合を実施した。

（ク） ８日、ロドリゲス欧州担当外務次官は、スプレッシャー駐ベネズエラ・スイス大使と、二国間の交流に関し、会合を実施した。

（ケ） ８日、メリク・バグダサロフ駐ベネズエラ・ロシア大使は、自身のツイッターを通じて、大使公邸において、大愛国同盟（与党会派）の関係者から、ロシア国民及びロシア政府に対する連帯を表明するコミュニケを受領した旨述べた。

（コ） ９日、247 名のベネズエラ人は、祖国帰還計画（Plan Patria a la Patria）を通じて、ペルーよりベネズエラに帰還した。

（サ） １０日、プラセンシア外相は、ツイッターを通じて、１１日から１３日まで、カラカスにおいて、反ファシズム国際会議を開催する旨述べた。

（シ） １１日、カラカスにおいて、反ファシズム国際会議が開催され、５２カ国から約２００人の招待客が参加した。また、１２日、マドゥーロ大統領が同国際会議に参加した。

（ス） １２日、ロドリゲス欧州担当外務次官は、メリク・バグダサロフ駐ロシア・ベネズエラ大使と、世界宇宙飛行の日の機会に宇宙飛行士ガガーリンに敬意を表した。

（セ） １２日、プラセンシア外相は、国営放送によるインタビューにおいて、ベネズエラ政府は、外国政府及び国内アクターとの恒常的な対話を行うコミットメントを有している旨述べた。

（ソ） １２日、ピメンテル・アフリカ担当外務次官は、M’bunde ギニアビサウ高等教育及び科学研究大臣と、二国間関係に関する会合を実施した。

（タ） １４日、ベネズエラ政府は、外務省声明を通じて、米国務省の人権状況報告書に対する断固とした拒絶を表明した。

（チ） １８日、ベネズエラ政府は、同日付外務省声明を通じて、同日発生した在コロンビア・ベネズエラ総領事館における火災に関し、領事関係に関するウィーン条約において定められている領事機関の保護措置の欠如を非難した。

（ツ） １９日、ベネズエラ政府は、同日付外務省声明を通じて、１５日発生したイスラエル政府によるアルアクサモスク周辺における襲撃を非難した。

（テ） １９日、273 名のベネズエラ人は、祖国帰還計画（Plan Patria a la Patria）を通じて、ペルーよりベネズエラに帰還した。

（ト） １９日、マルドナド青年・スポーツ大臣は、国連経済社会理事会青年フォーラムに参加した。

（ナ） ２０日、ビオモルジ産業・国内生産大臣は、国連開発計画と、国内生産の推進及びデジタルインフラの改善に寄与する国際技術協力に関する覚書に署名した。

（ニ） ２１日、モリーナ多国間問題担当外務次官は、メリク・バグダサロフ駐ロシア・ベネズエラ大使と、多国間

アジェンダに関し、会合を実施した。

（ヌ）　２１日、ロドリゲス欧州担当外務次官は、メリク・バグダサロフ駐ロシア・ベネズエラ大使と、二国間及び多国間関係における戦略的な同盟の強化に関し、会合を実施した。

（ネ）　２２日、マドゥーロ大統領は、フアン・カルロス・ロジョ元漁業・農業大臣（2010 年～2012 年）を漁業・水産大臣に、また、フアン・アリアス元基礎・戦略・社会主義産業大臣を産業・国内生産大臣に任命した。

（ノ）　２３日、プラセンシア外相は、マドゥーロ大統領及びベネズエラ国民の名の下、国際司法裁判所（ICJ）におけるニカラグアとコロンビアとの間の海洋境界画定に関する判決に関し、ニカラグアに祝意を表明した。

（ハ）　２３日、プラセンシア外相は、同日キューバを訪問し、ロドリゲス・キューバ外相と、二国間協力関係に関し、会合を実施した。

（ヒ）　２４日、マドゥーロ大統領は、外務省声明を通じて、ニカラグアの汎米機構（OAS）から脱退する決定に対する支持を表明した。

（フ）　２４日、プラセンシア外相は、ツイッターを通じて、ナイジェリア政府及び国民に対し、同国の石油精製所における爆発に対する追悼の意を表明した。

（ヘ）　２５日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、シリア独立記念日のレセプションに出席し、祝意を表明した。

（ホ）　２５日、マドゥーロ大統領は、ゴンザルベス・セントビンセント・グレナディーン諸島首相と、二国間の団結及び兄弟愛の強化に関し、会合を実施した。

（マ）　２５日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、国際労働機関（ILO）、企業団体及び労働者クラスの代表者が参加する社会対話フォーラムの開会式に参加し、同フォーラムがベネズエラの力を強化する旨述べた。

（ミ）　２６日、体制側国会は、プレスリリリースを通じて、20 名の最高裁判事の任命を発表した。同 20 名の内、12 名は再任である。

（ム）　２６日、プラセンシア外相は、ポルトガルとベネズエラの直行便の再開に祝意を表明した。

（メ）　２６日、ヒメネス科学・技術大臣は、ロシアの疫病学及びウイルス学等の専門家と、集団衛生の強化に向けた科学研究に関し、会合を実施した。

（モ）　２７日、最高裁は、プレスリリースを通じて、グラディス・マリア・グティエレス・アルバラドを最高裁長官として選出した旨発表した。

（ヤ）　２７日、ペニャ中南米担当外務次官は、ベタンクール・ウルグアイ臨時代理大使と、文化アジェンダの作成に関し、会合を実施した。

（ユ）　２８日、マドゥーロ大統領は、２５日より２８日まで開催されていた社会対話フォーラムに参加していたILO の代表者と会合を実施した。

（ヨ）　２９日、ベネズエラは、カリブ諸国連合（ACS）災害リスク軽減特別委員会委員長に満場一致で選出された。

（ラ）　２９日、マドゥーロ大統領は、25 日から 28 日までベネズエラにおいて開催されていた第１７回国際民主夫人連盟総会に出席していた同連盟代表者と、女性の権利の擁護に関し、会合を実施した。

（リ）　３０日、ベネズエラ政府は、外務省声明を通じて、コロンビア外務省が同コミュニケを通じて言及したベネズエラ国軍によるコロンビアの領空侵犯に対する断固とした拒絶を表明した。

（了）